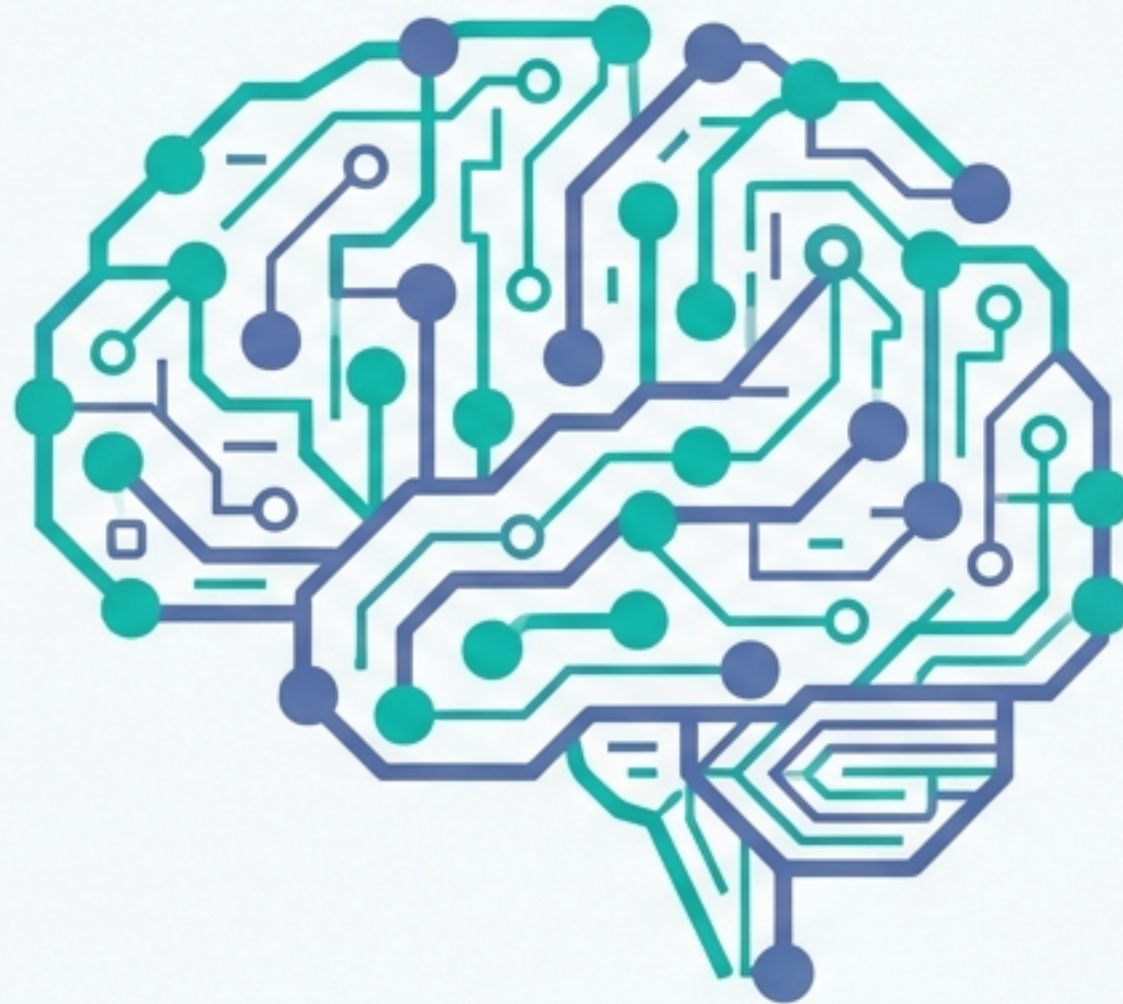


# remio 2.0 戦略的導入ガイド：脳を「記憶」から解放し、「思考」へ



## remio 2.0 戦略的導入ガイド：脳を「記憶」から解放し、「思考」へ ローカルファースト型AI「セカンドブレイン」で実現する、PM・エンジニアのための知的生産性革命

単なるツール導入ではなく、知的資産のサイロ化を防ぎ、意思決定を加速させるための「運用設計」と「実践的プレイブック」。

# 現代の知識労働者が直面する「3つの敵」



## 1. 断片化 (Fragmentation)

情報がSlack、メール、会議、ローカルファイルに散らばり、文脈が切断されている。「あの資料どこ？」の探索に時間を奪われる。



## 2. 揮発性 (Volatility)

会議での重要な決定や背景情報が、議事録として定着せず消えていく。「言った言わない」の手戻りが発生する。



## 3. 手動整理の限界 (Manual Overhead)

整理自体に時間を使いすぎ、本質的な「思考」や「創造」の時間が奪われている。

**Insight:** 年間1,000時間以上が、情報の「検索」と「整理」に浪費されている。

## コンセプトの再定義：「セカンドブレイン」とは？

Old Way



手動入力、タグ付け、整理が必要  
(High Friction)

New Way (remio)

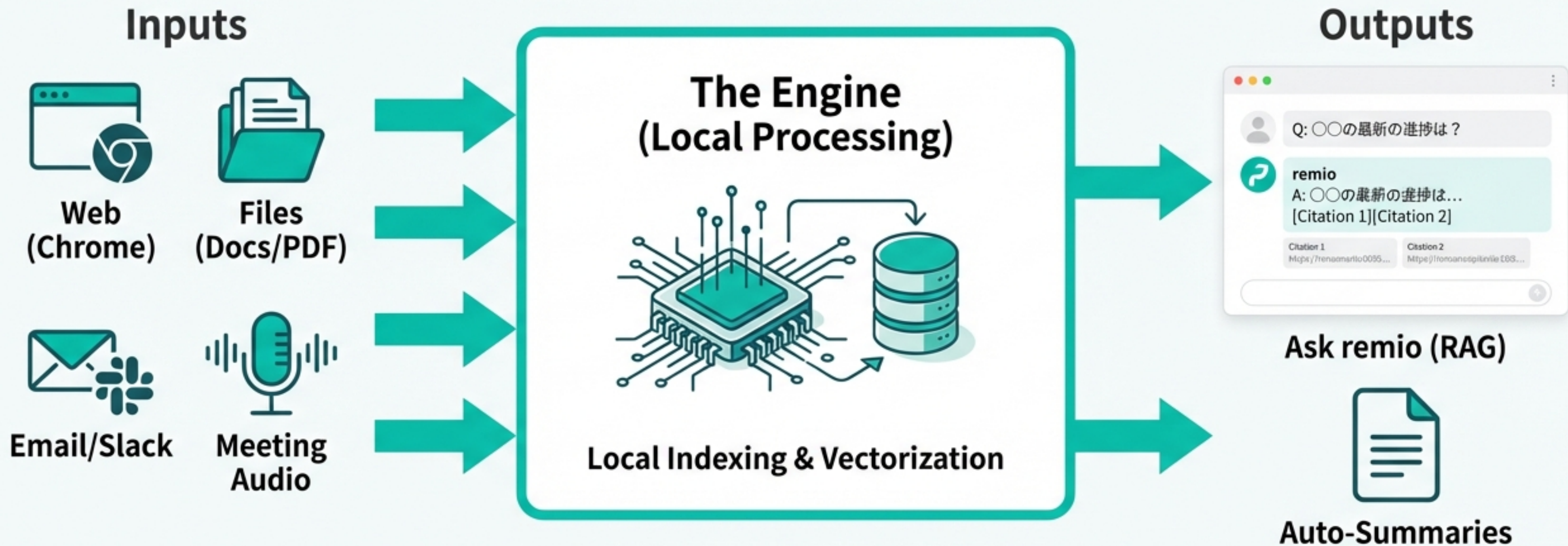


自動キャプチャ、自己組織化、文脈検索  
(Zero Friction)

**Core Message:** 脳は「記憶する場所」ではなく「考える場所」。  
情報を外部システムに委任（オフロード）し、必要な時にAIが文脈付きで呼び出す。

**Key Insight:** 「手動入力」を極限まで減らし、「自動キャプチャ」で勝手に知識が溜まる仕組みこそが、真のセカンドブレインである。

# remio 2.0 : あなた専用のChatGPT。 すべてを記憶し、根拠付きで答える。



## Auto Capture:

バックグラウンドでWeb履歴やファイルを自動収集。手動アップロード不要。

## Meeting Intelligence:

ボット招待不要。PCシステム音声を直接録音・文字起こし・要約。

## Ask remio (RAG):

自分のデータをソースに、出典（引用）付きで回答生成。ハルシネーションを抑制。

# 競合優位性：なぜ remio なのか？

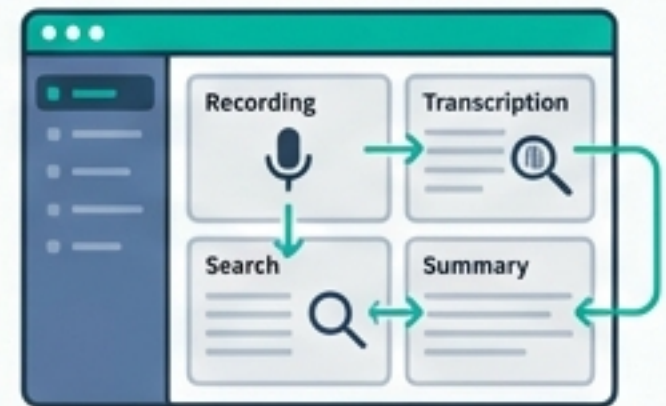
	Notion AI	Otter	Obsidian	remio 2.0
Input Style	Manual / Paste	Recording only	Manual / Markdown	Automatic (All Apps)
Storage	Cloud	Cloud	Local	Local + Hybrid
Experience	Team Wiki	Transcription	Custom Note-taking	Integrated Second Brain



入力の摩擦ゼロ：  
勝手に集まる・横断できる。

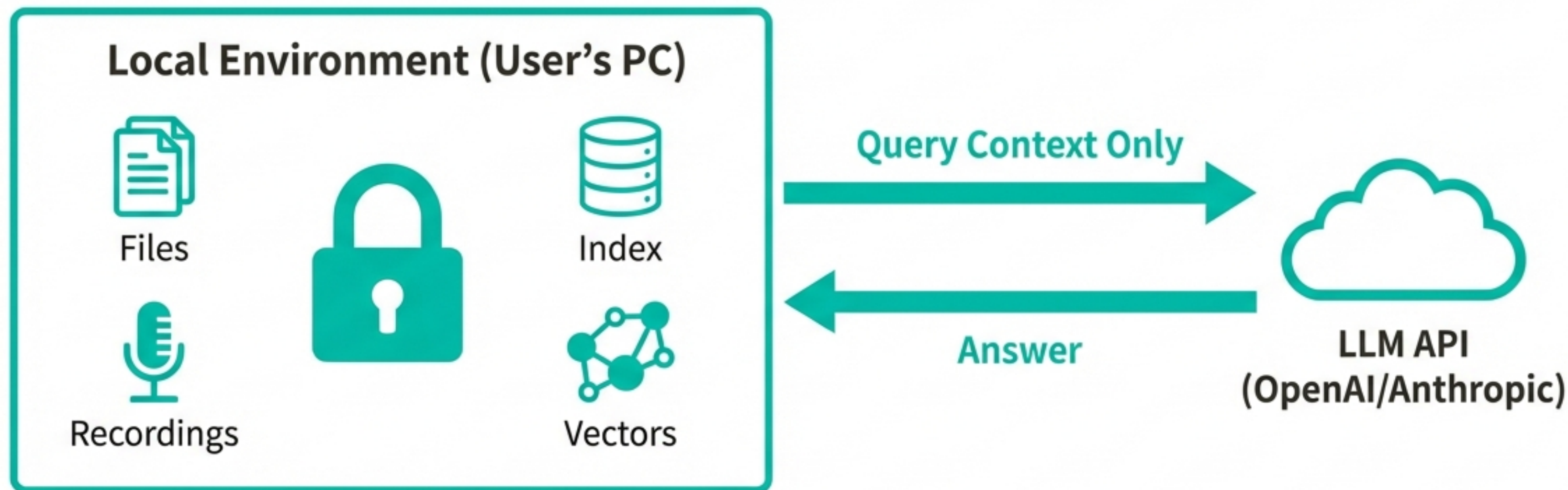


ローカルファースト：機密情報を  
クラウドに上げずにAI解析。



統合体験：会議録音から検索  
まで1つのアプリで完結。

# セキュリティとプライバシー：Local First & BYOK



## Local First:

データはPC内に保存・インデックス化。クラウド漏洩リスクを低減。

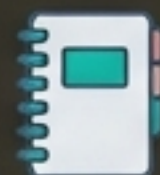
## BYOK (Bring Your Own Key):

自分のAPIキー（OpenAI, Gemini, Anthropic等）を利用可能。データコントロール権はユーザーにあり、ベンダーロックインを回避。

## Hybrid Architecture:

完全オフラインではなく、必要な推論のみクラウドLLMを使用（プライバシーと性能のバランス）。

# 思考の再構築：「情報レイヤー」を定義せよ



## Layer 3: Research

Tools: NotebookLM etc.  
役割：外部文献の深掘り



## Layer 2: Capture & Recall (The Second Brain)

Tool: remio 2.0  
役割：過程、背景、会議音声、断片的なメモの自動集約と再発見。



## Layer 1: System of Record (SoR)

Tools: Jira, Confluence, GitHub



役割：公式な決定、不変の記録。remioはここを置き換えない。

**Insight:** すべてをremioに集約すれば賢くなるわけではない。  
「SoR」と「Capture」を使い分けることで、データレイクの汚染を防ぐ。

# 実践プラン Step 1：接続は「高シグナル」に絞る

## ✓ 推奨アクション (Start Here)



- ローカルの「仕事用メインフォルダ」1つ
- 「会議録音」

これだけで即座に価値が出る。

## ✗ 警告 (Do Not)



- 最初からSlackを全同期しない

- **S/N比 (シグナル対ノイズ比) の維持:** 入力が増えるとノイズが先に増える。Slackの雑談は検索精度を下げる。
- **リスク回避:** Slack連携の不確実性とAPI制限を考慮し、最も慎重に扱うべき。

# 実践プラン Step 2：4つの「型」で整理する



## 1. Projects

案件・プロダクトの文脈。



## 2. People

ステークホルダー・顧客・チームメンバーとの履歴。



## 3. Decisions

重要な意思決定ログ（ADRなど）。



## 4. Incidents

障害対応、トラブルシューティング、学び。

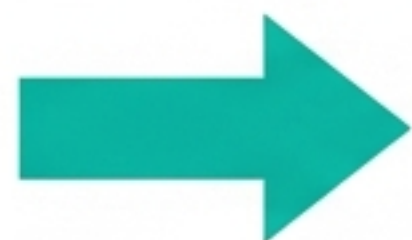
**Note:** 複雑なタグ付けは不要。AIによる自動分類とこの4つのバケツだけで運用を開始する。

# 実践プラン Step 3：会議後の「3分間リチュアル（儀式）」



## Review

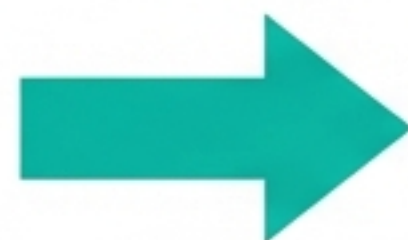
remioの自動要約を開く



## Extract

以下3点を抽出:

- 決定事項 (Decision)
- 保留 (Open)
- 次アクション (Next)



## Transfer

SoR (Jira/Confluence) に転記  
remioのリンク (出典) を貼る

**Outcome:** 揮発性の高い議論と、公式な意思決定の間に「監査可能な証跡 (audit trail)」を構築する。

# 導入の「罨」を回避する：PM・エンジニアへの注意点



## Slack連携の制約

macOS版のみの機能制限や、プラットフォーム側のAPIポリシー変更リスクを理解する。

「決定事項はSlackに置かない」運用が必須。



## OS要件

Windows 10+ (x64) または M-Chip Mac のみサポート (Intel Mac/モバイル未対応)。



## 完全オフラインではない

高度なAI処理 (Ask remio) にはインターネット接続が必要。



## 必須設定

精度向上のため、Chrome拡張とローカルファイル同期は必須と考えるべき。

# 成果をどう計測するか (ROI)



**情報探索時間**

**Target: 60秒以内**

「あの資料どこ？」が60秒以内に解決するか。



**記録速度**

**Target: 24時間以内**

会議後24時間以内にSoRへ決定事項が残っているか。



**手戻り削減**

**Target: 再議論減**

「言った言わない」の再議論が減ったか（出典付き回答の効果）。

**Success Case:** 競合分析の自動化により、週次計画時間を75%削減（FinTechマネージャーの事例）。

# プランの選び方：あなたのスタンスに合わせて選択

Free	RECOMMENDED BYOK (\$12.4/mo)	Pro (\$16.5/mo)
<p>まずは自動収集と検索を試したい人</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Capture: 無制限</li><li>• AIクレジット: 少</li></ul>	<p>プライバシー重視、自社でAPI契約がある人</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 自分のキーでコストとデータを管理</li><li>• データコントロール権</li></ul>	<p>AIヘビーユーザー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 2,000 credits/月</li><li>• モデル利用料を気にせず使い倒したい人</li></ul>

Note: 年払いによる割引 (REMIO2026) も検討。

# ユーザーの声：実証された効果



## Educator

「準備時間が6時間短縮。YouTubeやPDFから教材を統合できる。」



## Manager

「週次計画時間が75%削減。戦略と実行に集中できるようになった。」



## Developer

「ローカルファーストの安心感。セキュリティを妥協せずにすべてをキャプチャできる。」



## Consultant

「手動保存が不要になった。バックグラウンド収集が時間を節約してくれる。」

**結論：あなたの「知的パートナー」を目覚めさせよう**

**remio 2.0は単なるツールではない。あなたの経験を学習し、思考を加速させるエンジンである。  
今すぐ「検索」をやめて「思考」を始めよう。**

[Download remio 2.0 \(Free Trial\)](#)

Requirements: Windows 10+ / M-Chip Mac

**Final Tip:** 最初の2週間で、会議の意思決定をすべて追跡可能にする運用から始めよう。